

2007 年度

科目名 総合演習Ⅱ	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 小田 浩伸
授業テーマ 「人権」と「障害の基礎理解と支援の在り方」について学ぶ		
授業の概要と目標 私たちが目指すべき社会は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」である。その実現のためには、一人一人が鋭敏な人権感覚・人権意識を持つことと、障害について正しく理解することが不可欠である。これから教育・保育分野で活動していくために必要な内容を取り上げて、グループや全体での討論・意見交換を行う。その際、討論の進め方、プレゼンテーションの仕方等についても学ぶ。		
評価方法 出席状況、発表レポート、討議への参加状況等により総合的に評価する。		
テキスト 随時プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要に応じて適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - オリエンテーション 自己紹介、総合演習の進め方等について - 特別支援教育について 障害のある幼児児童生徒の教育について - 演習・討論・発表（1） 「決める」という動詞キーワードから人権について考える - 演習・討論・発表（2） 「遊ぶ」という動詞キーワードから人権について考える - 演習・討論・発表（3） 「参加する」という動詞キーワードから人権について考える - 盲・聾・養護学校について 障害種別の学校、総合養護学校、教育内容について - 特別支援学級について 小学校における特別支援学級について - 通常の学級における特別な支援 教室のできる支援・配慮について - 課題レポートの発表（1） 各自（グループ）で調べたこと、考えたことを発表し、全体で討論する - 課題レポートの発表（2） 各自（グループ）で調べたこと、考えたことを発表し、全体で討論する 「実践アクセス講義」（ゲスト・ティーチャー） 特別支援学級（養護学級）担当教員による講義及び質疑応答 - 障害のある子どもの指導の実際（1） 自閉症の子どもの指導事例を通して - 障害のある子どもの指導の実際（2） 肢体不自由のある子どもの指導事例を通して - 障害のある子どもの指導の実際（3） LD・ADHD等の子どもの指導事例を通して - 全体のまとめ		